財務分析指標 早見表

計算式と一般的な目安

安全性（短期の支払能力）

流動比率 1年以内の支払能力	流動資産 ÷ 流動負債 ×100	150%以上
当座比率 換金しやすい資産での支払能力	当座資産 ÷ 流動負債 ×100	100%以上
キャッシュ比率 すぐ使える現金での支払能力	現金及び現金同等物 ÷ 流動負債 ×100	比較
キャッシュフロー比率 本業の稼ぎで短期負債を返せるか	営業CF ÷ 流動負債 ×100	比較

安全性（長期の財務体質）

自己資本比率 返済不要の資金の割合	自己資本 ÷ 総資本 ×100	40%以上
負債比率 自己資本に対する負債の重さ	負債合計 ÷ 自己資本 ×100	100%以下
D/Eレシオ 借入金への依存度	有利子負債 ÷ 自己資本	1倍以下
固定長期適合率 設備を長期資金でまかなえているか	固定資産 ÷（自己資本＋固定負債）×100	100%以下
固定比率 設備を自己資本でまかなえているか	固定資産 ÷ 自己資本 ×100	100%以下
インタレスト・カバレッジ・レシオ 利息の支払余力	（営業利益＋受取利息・配当金）÷ 支払利息等	3倍以上
債務償還年数 借入金を何年で返せるか	有利子負債 ÷ 営業CF	10年以内

収益性（稼ぐ力）

売上高総利益率 商品・サービスそのものの儲け	売上総利益 ÷ 売上高 ×100	業種差大
売上高営業利益率 本業の儲け（10%以上は高収益）	営業利益 ÷ 売上高 ×100	5%前後
売上高経常利益率 財務活動も含めた毎期の実力	経常利益 ÷ 売上高 ×100	3〜5%
売上高当期純利益率 最終的に残る利益の割合	当期純利益 ÷ 売上高 ×100	比較
キャッシュフローマージン 売上がどれだけ現金を生んだか	営業CF ÷ 売上高 ×100	10%以上

収益性（資本の効率）

ROA（総資産利益率） 資産全体でどれだけ稼いだか	利益 ÷ 総資産 ×100	5%以上
総資産経常利益率 日本で一般的なROA	経常利益 ÷ 総資産 ×100	比較
ROE（自己資本利益率） 株主の出資でどれだけ稼いだか	当期純利益 ÷ 自己資本 ×100	8%以上
総資産回転率 資産を売上に変える効率	売上高 ÷ 総資産	1回前後
財務レバレッジ 自己資本の何倍の資産を動かすか	総資産 ÷ 自己資本	2〜3倍
経営資本営業利益率 本業に使う資産の収益性	営業利益 ÷ 経営資本 ×100	比較

資金繰り・回転期間

現預金月商比率 手元資金が月商の何か月分か	現金及び預金 ÷ 月商	1.5か月以上
手元流動性比率 短期の支払余力	（現預金＋短期有価証券）÷ 月商	1〜1.5か月
売上債権回転期間 売上を回収するまでの期間	売上債権 ÷ 月商	1〜2か月
棚卸資産回転期間 在庫が売上の何か月分か	棚卸資産 ÷ 月商	業種差大
仕入債務回転期間 仕入代金を払うまでの期間	仕入債務 ÷ 月商	比較

株主・株価

配当性向 利益のうち配当に回した割合	配当金総額 ÷ 当期純利益 ×100	30〜40%
EPS 1株当たりの稼ぐ力（円）	当期純利益 ÷ 期中平均株式数	増加傾向
PER 利益に対する株価の割高・割安	株価 ÷ EPS	比較
PBR 純資産に対する株価の水準	株価 ÷ 1株当たり純資産	1倍が目安

生産性・損益分岐点

労働分配率 付加価値のうち人件費の割合	人件費 ÷ 付加価値 ×100	50〜70%
労働生産性 1人当たりの付加価値	付加価値 ÷ 従業員数	比較
労働装備率 1人当たりの設備投資額	有形固定資産 ÷ 従業員数	比較
損益分岐点売上高 利益がゼロになる売上高	固定費 ÷ 限界利益率	—
損益分岐点比率 低いほど売上減少に強い	損益分岐点売上高 ÷ 売上高 ×100	80%以下